3-18　食品循環資源のリサイクル・ループ（有限会社三功）

三重県津市　2023年11月時点

食品残渣　粉状　県内

○　有限会社三功は、スーパーや学校給食等の食品廃棄物等を原料として堆肥「有機みえ」を製造。地域の農業者等へ堆肥提供し、生産された農産物をスーパー等に供給するリサイクル・ループを構築

■国内資源の種類

・食品廃棄物
・学校給食の残渣

■肥料の種類・肥料名称

特殊肥料・堆肥「有機みえ」

■作物

野菜

完成した堆肥

■主成分の含有量（%）、特徴等

N	P	K
0.43	0.54	0.53

色々な種類の農作物に使用出来るように、あえて肥料成分を抑えて製造

■取組の経緯・内容

取組の経緯

・有限会社三功は、平成7年から地域の食品が大量に廃棄されているのがもったいないとの思いでリサイクルを検討。堆肥化の取組を開始。

取組の内容

・食品廃棄物による堆肥は一般的ではなかったため、農業者の理解を得るために地域の農業者とともに「農業法人酵素の里」を立ち上げ、堆肥を使って農作物を作り、直販店や食品廃棄物の排出元の地元のスーパーで販売。リサイクル・ループを構築。
・日本大学との産学連携により、堆肥を使用した作物の安全性や土壌への影響について調査を実施。
・津市内の小学生の環境学習を受け入れ。資源を大切にする心を育てることを提唱。

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ

資源供給者：スーパー　コンビニ　学校給食

食品残渣 →

肥料製造者：有限会社三功

堆肥 →

利用者：農業法人酵素の里　市内農業者

↔ 産学連携

日本大学

土壌・農産物の安全性等調査

堆肥発酵機

■今後の課題・取組

・製造した堆肥は全量販売しており、廃棄物の受け入れと堆肥の使用のバランスのとれたリサイクル・ループが構築できている。持続可能な社会に向けてこの取組を継続したい。